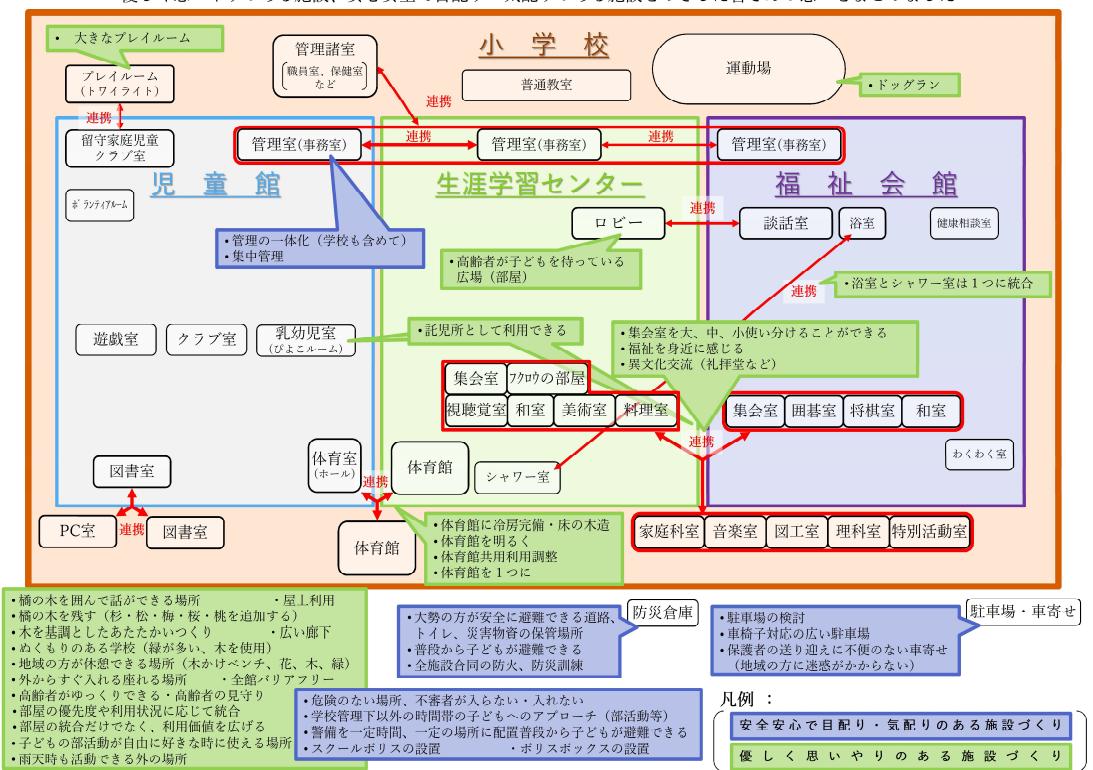


<協働のアイデアを実現する機能連携レイアウト図（案）>

～優しく思いやりのある施設、安心安全で目配り・気配りのある施設をめざした皆さんのお想いをまとめました～





第1回 橋小学校等複合化整備ワークショップ

日時：2021年6月30日（水） 18:30～20:00
場所：橋小学校 体育館



テーマ：「新しい複合施設に求める大切なポイントを話し合おう！」

- トピック1：橋小学校等複合化整備事業について
- トピック2：ワークショップについて
- トピック3：学校づくりと複合施設について
- トピック4：ワークショップ「新しい複合施設に求める大切なポイントを話し合おう！」

橋小学校等複合施設にかかる ワークショップを開催しました！

名古屋市では、橋小学校と周辺の公共施設を複合化して整備することで「様々な世代の人々がふれあう、学びあう、つながりあう、新たな地域コミュニティの拠点」となる学校を整備する取り組みを進めています。今年度は、学校関係者、学区関係者、複合化する施設関係者によるワークショップを開催することとし、6月30日に第1回のワークショップを開催しました。このかわら版では、ワークショップの内容をご紹介します。

橋小学校等複合化整備事業の概要

趣旨・目的

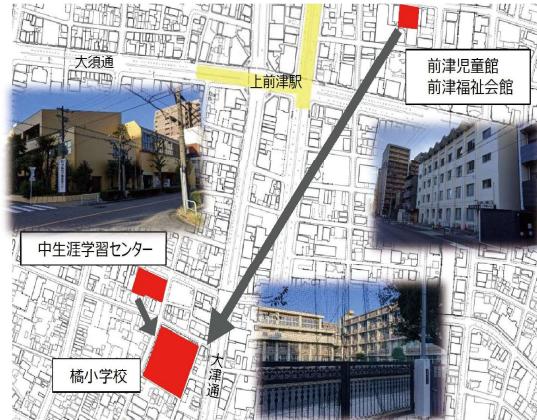
- 橋小学校と周辺の公共施設を複合化して整備することで「様々な世代の人々がふれあう、学びあう、つながりあう、新たな地域コミュニティの拠点」となる学校を整備します。
- 運動場の狭隘化等の橋小学校の抱える課題を解決することとともに、避難所機能の充実・強化を図ります。

複合化整備の概要

- 整備場所：橋小学校（現地）
- 複合施設：橋小学校、中生涯学習センター、前津福祉会館、前津児童館

スケジュール（予定）

- 令和11年度頃の供用開始を目指し検討



名古屋市教育委員会 五味澤 総務部長



この取り組みは橋小学校と近隣の中生涯学習センター、前津福祉会館、前津児童館を複合化して整備することで、新たな地域コミュニティ拠点になる学校を整備しようとするものです。子どもたちにとって良好な教育環境を整えると同時に地域の皆様にとって、広くご利用いただけるような施設が整備できればと思っております。

橋学区連絡協議会 野瀬 委員長



皆さん、お忙しい中ご参加いただきありがとうございます。橋学区としても手を取り合って、話し合いをしながら子どもたちのために進めていきたいと思っています。前向きな意見を交換していただき、1日も早い建て替えを願っています。皆様よろしくお願いします。



トピック1 橘小学校等複合化整備事業について

名古屋市教育委員会 教育環境計画室 荒木 室長



橘小学校をはじめ、いずれの施設も建築から40年以上が経過しています。今回の複合化整備は、各施設の老朽化に対応とともに、地域コミュニティの拠点として新たな小学校を整備するものです。また、避難所機能の充実強化を図っていきたいと考えております。



トピック2 ワークショップについて

ファシリテーター
株式会社青島設計 西川一級建築士



最近はこうしたワークショップを通じて集まつた方の意見を聞きながら建物をつくっていくというのが主流になってきております。皆さまの意見から施設のコンセプトや理念を発見したいと考えております。皆さまからアイデアをいただき、最終的には大まかな機能連携レイアウトを考えていきたいと思っています。



トピック3 学校づくりと複合施設について

アドバイザー

名古屋市立大学大学院芸術工学研究科 鈴木教授



名古屋市で初めての住民参加型ワークショップを行った名古屋市立植田東小学校をはじめ、いくつかの学校づくりをお手伝いさせていただきました。学校は地域コミュニティの核であり地域と密接に結びついていると思っています。児童と地域の皆さまが共有できるスペースを時間で使い分け、安全性が保てるよう考えるなど複合化的意味をみんなで考えることで良い学校づくりにつながった事例もあります。一方、良い建物ができるとそこで活躍する地域の方がない寂しい建物になってしまいます。地域の皆さんに見守ってもらい、モデルになるような良い学校づくりができると強く思っています。



トピック4 ワークショップ「新しい複合施設に求める大切なポイントを話し合おう！」

ワークショップ参加者の声

豊かな教育の場づくり

- ・楽しい学校
- ・子ども重視の運動場や教室不足を解消した学校
- ・雨天時も子ども達が自由に遊べる広さが確保された施設
- ・自然や緑を感じられる施設
- ・卒業生・異動された先生から意見をもらう(不便だった点など)

安全安心で目配り・気配りのある施設づくり

- ・子どもの安全・セキュリティ対策
- ・地域防災拠点としての体育館の機能
- ・平常時も災害時もバリアフリーがあたまえな施設
- ・車の出入りに対する安全への配慮
- ・人の流れや交通に合わせた設計

多世代の垣根のない絆づくり

- ・乳児から高齢者までボーダーレス、ジェンダーレスで垣根のない施設
- ・子ども達を主に、高齢者も使えるような施設
- ・利用しやすく、多くの人がスポーツ等で利用できる施設

子どもファーストで考える複合施設

優しく思いやりのある施設づくり

- ・障がいのある人もない人も一緒に利用し、地域の絆ができる施設
- ・高齢者を見守れる施設
- ・狭い敷地ならではの近隣へ配慮した施設
- ・狭い敷地を全体で有効活用(共有などの工夫)
- ・利用しやすい施設となるような管理運営

オブザーバー

名古屋市立橘小学校 八木校長



橘小学校はふれあい、学びあい、繋がりあいと、「あい（愛）」のある学校だと感じております。皆様のご発言からも子ども達に対する愛情を深く感じました。そのような愛情や子ども達への想いというのは、今後も変わることがないと思います。学校だけでなく施設に関わる方全員がそんな優しさを感じられる施設ができるいいと思っています。

学校関係者、学区関係者、複合化する施設関係者の皆さんに参加されました



<発行・お問合せ>

名古屋市教育委員会 教育環境計画室
〒460-8508 愛知県名古屋市中区三の丸三丁目1番1号
TEL: 052-972-3226 FAX: 052-972-4176

編集・ワークショップ運営

株式会社 青島設計